

納品先のニーズに応える姿勢を続け、 数々のヒット製品が 生まれる

いち早く自動車用LEDランプの
開発・製造に着手

ドーワ(世田谷区成城、古田芳社長、03・3417・7611)は、普通自動車、トラック用のランプ類、ガソリンタンクのキャップ等の部品の製造販売をメインの事業とし、それ以外にも建設車両、除雪車両といった特殊車両の部品、農機具などの産業機械の部品の製造販売も行っており、堅調な業績を収めている。

昨年の震災以降、節電のための家庭用LED電球の売上が急速に伸びているが、同社では、震災以前より自動車用LEDランプの開発、製造に着手してきた。通常のランプと比べ、大幅にバッテリーの負荷を軽減できるLEDランプが急速に普及しており、12W電球1個の消費電力で15個の点灯が可能

なトラック用LEDサイドマーカーランプは「超省エネ!長寿命」を売りにヒット製品となっている。自動車用ランプのLED化は、今後ますます進むことが見込まれることから、同社では、カラーや口



トラック用LEDサイドマーカーランプ



「今後も、納品先と二人三脚で事業を継続展開していきたい」と古田社長。

金の種類を増加させるなど、オリジナルLEDランプの開発、製造に力を入れている。

「当社が50年以上の永きに亘って業務を続けてこられた最大の理由は、納品先である自動車修理工場や自動車部品問屋といった車に精通された専門家一人ひとりの声を信じ、常にお客様のニーズに対応してきたことにあります。その結果、常に時代の流れにマッチする製品を手掛けることができています」と古田社長は思いを語る。その言葉通り、同社は、製品の開発にあたって、メーカーの自己満足のために製品を開発することなく、一貫して納品先との意見交換を重視し、エンドユーザーのニーズにかなうアイデアや要望を積極的に取り入れてきた。その結果、数々のヒット製品が誕生し、厳しい経営環境の中でも、安定した業績を維持することができており、「今後も、納品先との二人三脚による開発を続け、事業を継続展開していきたい」と古田社長は話す。

ドーワ